



KANGO



青
い
木
木



P.02-06

県民フォーラム

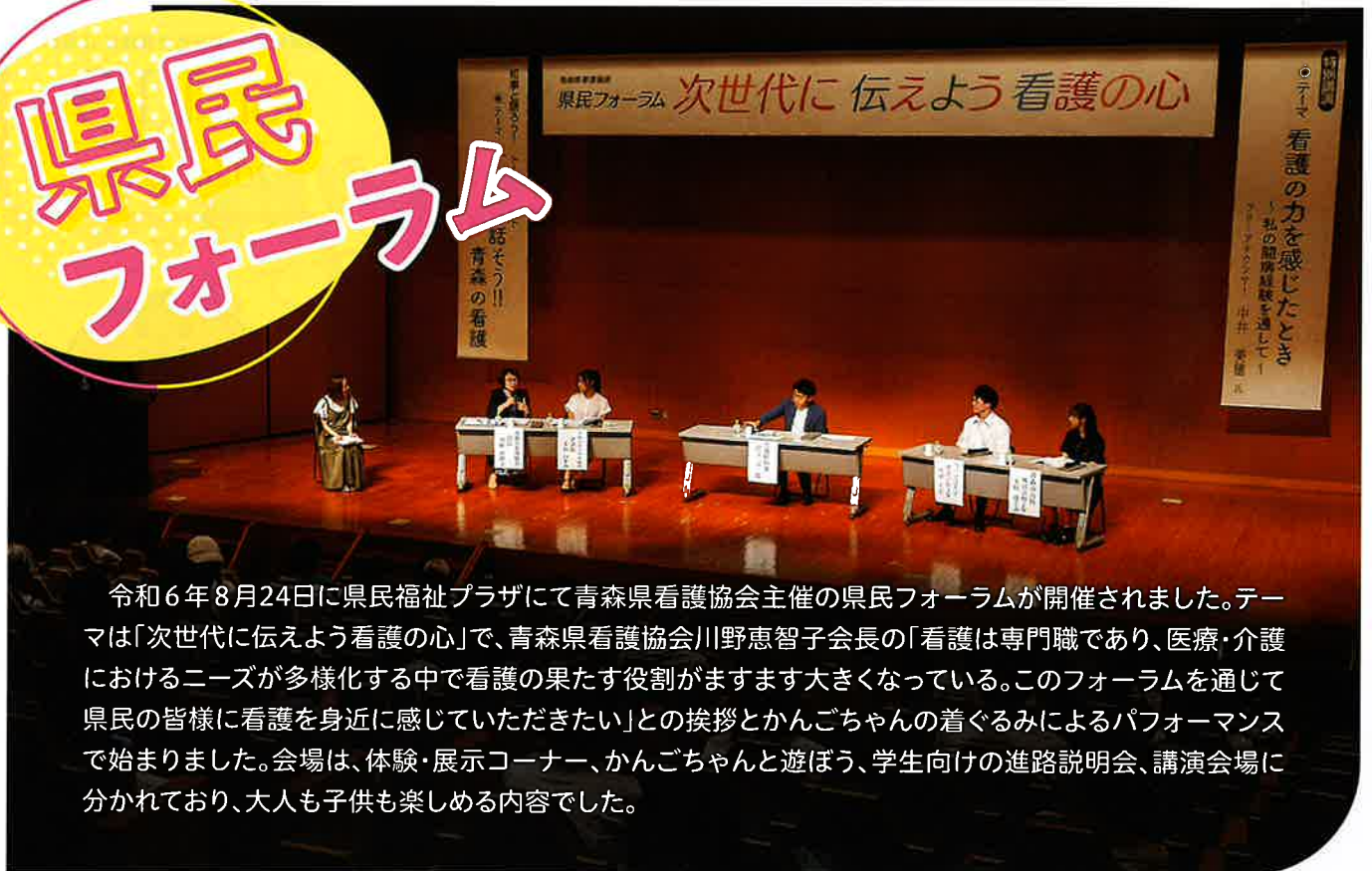
- 特別講演 ●トークイベント
- 体験・相談コーナー

contents

- 映画「じよっぱり 看護の人 花田ミキ」を観て p.06
- 感染対策推進委員会 p.07
- 職能委員会 p.08-09
- 研修報告 p.10-11
- 教育研修課 研修・懇談会報告 p.12-13
- 教育委員長のABEより p.13
- マナブルQ&A p.14
- 看護職のためのポータルサイト「NuPS」 p.15
- 支部が協力員として参加したイベント p.15
- 准看護師理事より p.16
- 会費改定のお知らせ p.16
- 編集後記 p.16



県民 フォーラム



令和6年8月24日に県民福祉プラザにて青森県看護協会主催の県民フォーラムが開催されました。テーマは「次世代に伝えよう看護の心」で、青森県看護協会川野恵智子会長の「看護は専門職であり、医療・介護におけるニーズが多様化する中で看護の果たす役割がますます大きくなっている。このフォーラムを通じて県民の皆様に見てほしいと感じていただきたい」との挨拶とかんごちゃんの着ぐるみによるパフォーマンスで始まりました。会場は、体験・展示コーナー、かんごちゃんと遊ぼう、学生向けの進路説明会、講演会場に分かれており、大人も子供も楽しめる内容でした。

特別講演

県民ホールでは、フリーアナウンサーの中井美穂さんによる「看護の力を感じたとき～私の闘病経験をを通して～」のテーマで特別講演が行われました。フジテレビを結婚退職後なかなか子宝に恵まれず、妊娠を望み最後のチャンスと受けた子宮筋腫の摘出術後に腹膜炎を併発したことで、約1年間に渡り人工肛門生活を送ることになったご自身の体験を涙ながらに話して下さいました。「赤ちゃんが欲しかったのに出来たのは人工肛門」と、入院中は精神的・身体的につらい時期がありましたが、家族以上に自分を看っていてくれて愛情のある言葉と笑顔で寄り添い支えてくれた看護師の存在が回復への力になったことを、感謝の気持ちを込めて話して下さいました。また、自身の闘病経験をマイナスだけで終わらせたくない、自分の経験が誰かの役に立つのではという思いから、現在理事を務めている認定NPO法人キャンサーネットジャパンでの、がん患者の支援、小児がん啓発、グリーンサポートなどの活動を紹介して下さいました。最後に「人生も後半戦に入ってきて、自分の気持ちを大事に、培ってきたキャリアや人脈を惜しみなく未来や誰かのために使いたい。何かで恩返しができる活動を続けていきたい。」と述べられ、会場からは大きな拍手が送られました。



会場の様子



アナウンサーだけに
トーク上手!

トークイベント

トークイベントでは、青森県看護協会の川野会長と青森県知事の宮下宗一郎氏のほか、県内で働く現役の看護師、看護大学の学生、看護師を目指す高校生を招いて、「みんなで話そう!! 青森の看護」と題して、看護の魅力ややりがい、青森県で看護職を増やしていくための課題などについてトークをしました。八戸学院大学看護学科3年の岩澤大貴さんは、病院実習で受けた指導に感銘し、県内で働こうという気持ちになったことや、女性が多い環境での心境、青森の食文化への愛着などを楽しく語って下さり、宮下知事の軽妙なツッコミもあり、会場は終始笑いに包まれていました。また、青森で就職し働き続けてもらうために、若い世代にとってより魅力ある商業施設を増やしていくことや、地元の良さをもっと知ってもらうこと、県内でもキャリアアップできる職場環境の整備などの課題が見出され、とても充実した内容となりました。



川野会長



ツッコミを入れる
宮下知事



笑いをとる学生さん



チア大好き



練習どおりに
できました!



アトラクション

青森ワッツチアダンスチーム ブルーリングスJr.チーム

講演の間には、青森ワッツチアダンスチーム ブルーリングスJr.チームが、元気溢れるパフォーマンスで華を添えてくれました。お揃いのコスチュームに身を包み、「はい!」というかけ声と颯爽としたチアダンスで、蒸し暑い残暑を一瞬忘れさせてくれました。



キラキラ輝くチアダンス

妊婦体験

新生児人形の抱っこ、妊婦体験ができるコーナーでは、産まれたばかりの赤ちゃんと同じ重さで首が座っていない新生児人形をおそろおそろ抱っこしたり、機械で赤ちゃんの心音を聴いて鼓動の速さにびっくりしたりと、参加された方は終始笑顔で体験されていました。また、妊婦体験では、助産師に妊娠シミュレーターを着けてもらい、妊婦の体の重さを体感しながらしゃがんだり横になったりしては、悲鳴のような歓声が上がっていました。滅多にできない体験に、男性の方も恥ずかしそうに参加されていました。



息子に体験させられてよかったです。



優しく抱っこしてね



かんごちゃん と遊ぼう

かんごちゃんの顔はめパネルやガチャポンゲーム、塗り絵などが楽しめる子供向けのコーナーもあり、お子さん連れのご家族が楽しんでいました。かんごちゃんのマグネットや、カラフルなミニタオルは子供たちにも大好評でした。



顔はめパネル

大人気だった
ガチャポン

何が入って
るかなー



かんごちゃんマグネットは
47都道府県のかんごちゃんを作成

展示コーナー

防災グッズ、AED、 胸骨圧迫、快眠寝具

展示・体験コーナーには、災害・避難グッズや快眠寝具が展示されていました。車内脱出用のミニハンマーや濾過装置付き飲料水ボトル、携帯バッテリーなど、災害や予期せぬ事態に対応できるよう工夫を凝らしたグッズが数多く展示されており、来場された方々は実際に手に取り、熱心に説明に耳を傾けていました。また、段ボールベッドの組み立てや、胸骨圧迫、AEDシミュレーターの体験コーナーもあり、お子さん連れのお母さんや年配のご夫婦がぎこちないながらも真剣に体験されていました。その後は、隣の東洋羽毛の快眠寝具のコーナーでコーヒーを飲みながらホッとひと息ついていました。

段ボールベッドを
組み立てよう!!



災害時に活用できる
防災グッズの展示

東洋羽毛の
快眠寝具・
グッズの展示



体験・相談コーナー

骨密度やインボディ、ベジチェックが行われていました。感染対策を行いながらひとりずつ測定し、その場で結果を教えてもらえるので、測定待ちの列ができる盛況ぶりでした。看護師による健康相談コーナーもあり、測定結果をもとに健康相談ができるようになっていました。友人や家族と一緒に楽しみながら、健康づくりに一役買っていたようです。

インボディ



骨密度測定



健康相談
コーナー



手のひらで
野菜摂取量を測定!!

白衣の歴史

白衣の展示コーナーには、花田ミキさんの映画さながらの従軍看護師時代の白衣や、懐かしのナースキャップにワンピースの白衣が複数展示されていました。一般の来場客だけでなく、看護職の皆さんも懐かしそうに眺めていました。白衣の変遷とともに、看護職の役割も時代とともに移り変わってきた歴史を垣間見ることができました。



進路説明会

進路説明会では、高校生を対象に県内7つの看護系大学や看護学校の紹介と進路相談を行っていました。学校ごとにコーナーが設置され、各校の教員が直接進路相談に応じてくれるため、制服姿の高校生達が真剣に話を聞いていました。また、保健師や助産師、看護師の各職種の仕事について聞くことができる職能別相談ブースもあり、親子連れやお友達同士で来場された方々が、楽しそうに相談されていました。



真剣に話を聞く学生たち



各学校毎の相談コーナー



受付の様子



花田ミキコーナー

まとめ



今回の県民フォーラムには、一般県民、学生、看護職など、総勢約231名が参加され、大盛況のうちに幕を閉じました。テーマである「次世代に伝えよう看護の心」の趣旨に基づいて、県民の皆様、そして若い世代の方々に、看護について知り興味を持っていただくよい機会になったのではないのでしょうか。

記：広報出版委員 堀川長子（医心館八戸）
畑山範（湊病院）

映画「じよっぱり看護の人花田ミキ」を観て...

青森の看護職の礎を築いた花田ミキさんの生涯を描いた作品。戦後の混乱の中、ポリオや結核などの感染症と闘う若き日の花田さんの姿が、コロナ渦にある現代とシンクロしており、涙とともに共感を生みました。作中の花田さんの「もったら殺すな！」（授かった命を大切に産み育てよの意）というセリフが、強く心に残りました。冒頭の舞の海さんのコミカルな演技や、ねぶたのお囃子が流れるエンドロールにも郷土愛が溢れており、素敵なお作品でした。

記：広報出版委員 堀川長子（医心館八戸）



感染対策推進委員会

感染対策推進委員会設置の経緯

新型コロナウイルス感染症の拡大により感染対策に関する課題が浮き彫りになり、新興感染症に備え社会福祉施設における感染予防対策の知識・技術の向上のため、青森県看護協会に新たに「感染対策推進委員会」が設置されました。



ブラックライト
忘れずに!

施設指導に向けて、
物品点検と手順の確認

私のやり方は
正しいの〜



障害者支援施設千年園(弘前市)訪問研修 令和6年8月28日

看護師、介護士等17名へ手指衛生とPPE着脱研修会を実施しました。

手指衛生の演習では石鹸と流水での手洗い後ブラックライトに手をかざした職員から「(手指に塗布した蛍光塗料)あれ、思ったより落ちていない」との感想が聞かれ、各々が洗い残し箇所を目視し手洗い手技を確認しました。

PPEの着脱演習では委員が着脱のポイントを説明しながら職員と一緒に着脱を行い、各自が着脱手技の確認をしました。

演習後施設内ラウンドをさせていただき、施設で使用されている感染対策に関する物品や管理方法、感染症が発生した際のゾーニングや対応等について確認し、見直しが必要な点については改善案を提案しました。施設利用者の特性や施設のハード面等により感染対策の手段が異なるため実際に施設へ訪問し、職員の方と共に現場を見て、会話を重ね、疑問が生じたことに対し、その場で解決に向けた話し合いができ有意義であると感じました。

PPE正しい着脱手順で菌を運ばない



参加者からの声

ゆっくり着脱することで汚染されている事を考えながらできた

施設内ラウンドやマニュアル確認で!
無駄を省く



活動内容 研修参加施設を公募します

研修内容 2回シリーズで手指衛生やPPE着脱演習、施設内ラウンド、マニュアル確認を行います。

県内の障がい者施設対象に公募を行います。施設の皆様、ぜひこの機会と一緒に対策を考えていきましょう。詳細が決まり次第、ホームページにてお知らせいたします。

職能委員会

保健師

保健師の資質向上と情報交換のための交流会



9月9日(月)にアピオあおもりにて、保健師の資質向上と情報交換のための交流会を青森県と全国保健師長会青森県支部の共催で開催し、県内の行政保健師・産業保健師など63人が参加しました。

講義では大阪大学大学院保健学専攻 公衆衛生看護学教室 教授の岡本玲子氏より、「人々の元気を支える★保健師のすごワザを確認しよう!」をテーマにご講演いただきました。日々の保健師活動の中で「保健師は根拠(エビデンス)を基に日々活動している」ということに自信が持てるよう、これまで実践してきたワザのすごさを再確認する機会となりました。

講義中にはプチワークとして「シンク・ペア・シェア」の手法が取り入れられ、まず個人で考え、その後パートナーと話し合い、最後に全体で共有する方式で進められました。ペアワークでは経験年数が異なる保健師同士がペアとな

り、それぞれの立場から感じている保健師のすごさや、これまで実践してきた日々の業務で直面している困難について共有し、助言を得る機会ともなりました。

保健師は、公衆衛生行政のフロントランナーとして、また住民の方と最も密接に活動する専門職として、保健師自身が自信と誇りをもって活動することこそが人々の「生」を衛ることに繋がるということを改めて学びました。これからの保健師活動も自信と誇りをもって取り組んでいこうという熱いメッセージを受け取り、元気をもらうことができました。

今後も保健師職能委員会の企画研修へのご参加お待ちしております。

記:保健師職能委員 畑中 彩美

助産師

「産科混合病棟におけるユニットマネジメントの重要性」研修会の開催!



7月6日、アピオあおもりにて、日本看護協会 常任理事 井本寛子氏を講師に招き研修会を行いました。3名の看護局長を含む県内分娩取扱病院10施設から22名が参加し、産科混合病棟における問題解決に取り組みました。

講義では、切れ目ない支援体制で必要なケアを提供し妊産褥婦にとって快適で満足度が高いケアを提供していく重要性や、ネガティブな結果となった場合、訴訟のリスクもあるため 病院管理者や看護管理者は施設全体のこととして捉え、他科患者との区域特定や入室基準を明文化していく必要性が大切であるとの内容でした。グループワー

の各施設の問題共有や他施設の取り組みを参考にでき、実現可能なユニットマネジメントの推進を確認できました。

記:助産師職能委員 立花 幸



看護師 I

全国看護職能委員長会 | 病院領域に出席して



8月2日、TKP新橋カンファレンスセンターで日本看護協会主催の委員長会が開催されました。「処遇改善に向けたベースアップ評価料の活用について」の情報提供があり、その後地区毎でグループ討議、全体共有を行いました。6月1日からベースアップ評価料が算定となりました。皆様の病院では、どのような対応でしょうか。基本給アップそれとも手当支給でしょうか。病院の設置体により異なりますが、全国同様の対応でした。

「看護職員の処遇改善」に関しては、令和4年度診療報

酬改定では、一部の病院のみが算定可能でした。日本看護協会及び看護連盟が、「全ての看護職員に対して賃上げが必要」であることを主張し、時間をかけ、働きかけを続けてきた結果、令和6年診療報酬改定で新設されました。処遇改善は嬉しいことではありますが、患者さんが医療費として支払います。私達看護職は、患者さんへ質の高い看護サービスの提供を考え実践し、還元していく必要があると考えます。

記：看護師職能 I 委員長 工藤 由紀子

看護師 II



高齢化、多死社会の時代、在宅療養を継続させるためには看護小規模多機能型居宅介護の普及と推進が必要です。そこで看護師職能委員会IIでは、昨年に引き続き看多機に関する学習会を2回開催しました。

1回目は日本看護協会の田母神常任理事と憐ラピオンの柴田代表取締役よりご講演いただきました。田母神常任理事からは「これからは看多機を知らずして生き残れない」、柴田代表取締役からは「看多機の広報活動が足りない。地域や病院看護師との交流や情報共有がもっと必要だ」という課題をいただきました。

2回目は県内の看多機の管理者4名から自施設の現状や課題について情報提供していただきました。話を聞き、看多機の運営の難しさを改めて実感しました。

また、管理者にもグループに入ってもらい、『看多機をうまく活用していくためには』をテーマにグループワークを行いました。最後の発表では「行政や病院看護師の理解が進んでいない」「看多機から利用者の様子を地域や病院にフィードバックしてはどうか」と様々な意見が出ました。

地域連携推進には看護職一人ひとりが自施設から地域に目を向けて看護連携に取り組んでいく必要があります。看護管理者はそのことを理解し、推進していく役割を期待されています。今後も看護師職能委員会IIでは、地域の実情を皆さんへ発信していきますのでご期待ください。

記：看護師職能II委員 佐々木 貴子



ナースセンター

report 研修報告



令和6年度 再就業支援研修①

採血・血管確保・筋肉注射の実技

6月4日(火)、8月6日(火)青森県民福祉プラザにおいて開催(全5回中2回実施)

血管注射用シミュレーター5台と筋注用3台を使用し、実技に焦点を当てた構成で延べ19名が受講、研修内容には全員満足されていましたが、時間不足を感じる参加者も。実際2回受講する方もいらっしゃいました。注射体験の機会を得て、復職支援につなげていただければと思います。

採血・血管確保



令和6年度 再就業支援研修②

摂食・嚥下障害の看護と経管栄養

【八戸ユートリー】7月24日(水)・【県民福祉プラザ】8月16日(金)において開催

八戸会場ではつがる総合病院摂食・嚥下障害看護認定看護師亀山香氏、青森会場では青森慈恵会病院同認定看護師丹藤淳氏を講師に迎え、総勢32名の看護職の皆さんが受講。実技を交えたテンポの良い講義に、笑いあり、新たな発見ありの学びの多い時間となりました。



摂食・嚥下障害の看護と経管栄養

令和6年度 訪問看護師基礎研修

腹部のフィジカルアセスメント

6月28日(金)青森県立保健大学において、角濱春美教授、小池祥太郎准教授を講師に、参加者16名で開催

参加者は互いに被験者となり実際の手順を確認。さらに、講師に質問するなどし、積極的に技術を習得しようとする姿勢が印象深かったです。今後も、様々なフィジカルアセスメント研修を希望するご意見が多く、座学だけではなく、五感を使った実技研修が良いと感じました。

令和6年度 新人看護職員等 離職防止及び定着促進事業における 管理者研修

6月10日(月)参加者27名で開催。講演は、

青森中央学院大学 木立るり子氏「今どきの看護学生を読み解く」青森労働局 大田真氏「勤務環境改善で魅力ある病院を目指す」参加者は、新人看護士の考え方や行動、労務管理の基礎知識について学ぶ

とともに、グループワークでは各施設の問題・課題を共有し、特に指導者の研修をどのように進めていくかなどの活発な意見交換をしていました。



NC管理者研修

医療的ケア児支援

看護師技術研修実施しました

看護職として、医療的ケア児支援のために習得したいスキルを身につけてほしいと思い、8月29日に研修会を開催しました。喀痰吸引・経管栄養や胃ろう管理、人工呼吸器管理などの演習の他に、県障がい福祉課からの行政説明、医療的ケア児等圏域アドバイザーから看護師に求めたい役割等についてお話をいただきました。圏域アドバイザーの活動について理解を深めることもでき有意義な研修となりました。10月28日にはこどもみらい課から受託の医療的ケア児保育普及啓発フォーラムも開催します。医療的ケア児を取り巻く看護職がもっともっと増えることを願います。



超音波検査技術研修
(R6年8月31日)

今年も開催!助産師のための 超音波検査技術研修

青森県からの委託事業である助産師活用推進事業の一環で超音波検査技術研修を実施しました。院内助産・助産師外来でのケアの質向上へつなげるために、スキルを高める必要があることを助産師職能委員長 下斗米久美子氏より講義していただいたのち、青森市民病院の5人の臨床検査技師の方から、約15分間のマンツーマン指導による技術研修でした。個人の習熟度にあわせた内容となり、現場ですぐに活用できる技術を身につけていたようでした。今後、研修で学んだことをどのように活用しているか追跡して確認していきたいと思います。

青森県助産師活用推進事業

院内助産推進 フォーラム開催

7月27日(土)ホテル青森にて、青森県内の院内助産推進を目的にフォーラムを開催しました。信州大学の塩沢丹里先生を招き、産科医師の理解も必要であること、院内助産は医師不足解消のために行うものではなく、助産師本来の役割を果たす必要があること、また、八戸市立市民病院・青森県立中央病院からも報告をいただき、県内の現状等もあわせて参加者みんなで共通認識ができました。参加者26名でしたが、充実したフォーラムでした。



新たな災害支援ナース が養成されました

8月9日・10日の2日間にわたり、今年度1回目の災害支援ナース養成研修を行いました。46名が受講し、新たに登録されました。今年度から改正医療法により、「災害・感染症医療業務従事者」に位置付けられ、派遣の調整は青森県が行います。

突然くる災害に備え、派遣される場合を想定した準備をお願いいたします。



★感染症



★災害

教育 研修課



看護補助者の活用推進のための看護管理者研修

7月29日に開催した研修には、44施設から104名の参加がありました。この研修は診療報酬加算要件となる研修で、e-ラーニングでの講義と集合形式での演習でプログラムされています。演習では、グループ毎に課題について対策案を話し合い、発表しました。参加者からの課題としては、看護補助者への適切な指示出し、情報共有の方法、教育体制の確立、看護補助者間の人間関係支援などが多く上がりました。演習での意見交換を通して、施設の現状や日頃の悩みを共有できることがこの研修の良さだと感じています。参加者それぞれが課題解決へのヒントを得て、自施設で看護補助者の活用推進に取り組まれることを期待しています。

今年も青森県受託事業として「青森県保健師助産師看護師実習指導者講習会」(22日間)を開催しています。e-ラーニングを取り入れて5年目となった今年は20人が修了に向けてがんばっています。

この日の集合研修は「カンファレンスの方法」の講義。実習の中で学生に学んでほしいこと、気づいてほしいことを整理しながらどのように導いていったらいいのか、指導者の役割についてグループワークを通して学びを深めていました。



11月からは「特定分野における青森県保健師助産師看護師実習指導者講習会(7日間)」も開講します！病院以外の施設で働く看護職のみなさん、実習生の受入れ、指導について一緒に学んでみませんか。

青森県保健師 助産師看護師 実習指導者 講習会



認定看護 管理者 教育課程 セカンドレベル

令和6年度のセカンドレベルが7月22日から10月4日の33日間で終了しました。今年度の受講者は、38名で青森県外からも5名の受講者がありました。

演習では、各受講者の圏域の施設へ実習に行き、地域包括ケアについて学び、自施設との連携について考える機会となりました。

一緒に学んだセカンドレベルの仲間と今後もつながりながら看護管理者として活躍を期待しています。



令和7年度認定看護管理者教育研修について

ファーストレベル ▶ 令和7年1月中旬募集予定

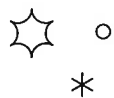
サードレベル ▶ 令和7年3月中旬募集予定

募集は、manaableでの案内・申込となります。募集開始の案内については、12月下旬になりますので、ホームページ等でご確認ください。



令和7年度 県民福祉プラザで改修工事がおこなわれるため、リモートでの講義もあります。

令和6年度 教育懇談会 8.31 土曜午後 オンライン開催



懇談会に先立ち日本看護協会の取り組み「看護師と准看護師による安全で質の高い看護提供体制の構築」をテーマに日本看護協会 田母神常任理事と当県の取り組み事例をむつりハビリテーション病院 白濱看護部長が実態報告、のち意見交換する時間を盛り込んだ。看・准看の業務を示したガイドラインと実態のギャップを改めて感じたが、『安全』と『質』を保つために、のろのろでも進めていかなければならない課題を共有できた、と思う。

本題では、参加28施設(39名)から①研修への要望②自施設の生涯学習の取り組み状況の2つのテーマで意見を頂いた。

①では、当協会企画研修は概ね〇という温かい意見と、今後計画されている研修(DX、ICT、フットケア、タスクシフト/シェアなど)を期待する意見が多かった。このほか、看護研究の指導者、ファシリテータ・コーディネータの育成、中堅看護師のための意見交換の場づくりなどの要望があった。

②では、G研のeラーニングというワードがよく聞かれ、各施設の進捗状況に差はあるが、看護職の生涯学習体制づくりを推し進めているという意見が大勢を占めていた。

また、集合、オンラインそれぞれの研修の利点・弱点を率直に話していただき、今後の研修企画に活かすぞ~!!と翌日の教育委員会は、短時間で濃密な話し合いができた。次年度、乞うご期待(´▽`)

教育委員長の ABE です



会員の皆様、日頃よりたいへんお世話になっております。青森県看護協会教育委員会で委員長を務めさせていただいている阿部と申します。今回は教育委員会についてちょこっと紹介させていただければと思い、誌面を割いていただきました。ご一読いただければ幸いです。

教育委員会って何してるの？

教育委員会の役割は総会要綱に書いてあるのですが、ざっくり言うと「看護職が自己の能力を高められるような研修を企画・運営する」ということになるかと思えます。

ただ、いくら研修を企画しても、参加してもらえないことには役割を果たせないの、会員の皆さんが興味を持つような、皆さんのアンテナ、センサーに引っ掛かりそうな研修、現代の看護のトレンドを捉えた研修が企画できるように心がけています。

また、協会職員と協力して当日の研修を運営することも役割の一つとなっています。

教育委員ってメンドくさくない？

教育委員になって、「ちょっと大変だなあ」ということもゼロではありません。

- ◆委員によっては、自分の時間を割いて会議や研修に参加することもある
 - ◆研修のネタに詰まる
 - ◆研修テーマは決めただけ良い講師が見つからない
といったあたりは少し負担に感じる方もいるかもしれません。
 - 逆に、個人的に「けっこう良かったかも」というところも多くて、
 - ◆自分が興味のある研修を企画できる
 - ◆研修運営をしながらですが研修を聴講できること
 - ◆他分野の看護職と情報交換できる
 - ◆全国区の研修講師とのネットワークを構築しやすい
などいろいろです。
- 相対的にはメリットのほうが大きいと感じています。

教育委員会としては、冒頭の「看護職が自己の能力を高められるような研修を企画・運営する」ことがその存在意義となっています。

会員のニーズに合致した研修企画のため、教育委員が各職場に出向きお話を伺いたいところですが、皆様も業務御多忙と思いますので、お近くの看護協会役員や支部役員、また、研修参加時のアンケート等を通して「この講師の研修なら絶対参加する!」とか「ちょっとこのテーマについて取り上げてほしい!」、「いまうちの病院ではこんなことが課題になってる」など、ぜひ皆様の声をお聴かせください。ご意見すべてを反映するのは難しいと思いますが、可能な限り取り入れていきたいと考えています。

自分に付加価値をつけていくコンテンツ、看護職同士のネットワークを構築するツール等として、看護協会・教育研修を上手に活用していただきますよう、今後ともよろしくお願いたします!!

記:教育委員長 阿部

manaable マナブル Q&A

研修システム manaable 運用3年目 まだまだ『?』がたくさん

いろいろなお問い合わせを日々いただいておりますが、最近特に多いお問い合わせに
お答えします!



Q 領収証をダウンロードしたが、ダウンロード先(ファイル)が見つからない...



申し込んだ研修の支払いを完了した時点で、領収書を manaable から PDF でダウンロードすることができますが、その保存先がわからず印刷できない。という事象が多発しているようです。

A 下記の操作で探してみてください。
※機種や各自の設定で異なる場合もあります

iPhoneやiPadの場合

- ①「ファイルApp」を開きます。
- ②「iCloud Drive」をタップします。
- ③「ダウンロード」を選択します。
「ダウンロード」フォルダのなかに、すべてのファイルがあります。

Androidの場合

「ファイル管理アプリ」から探す場合

- ①Android端末の「ファイル管理アプリ」(ファイル、Filesなど機種によって異なります)を開きます。
- ②メニューの中から「ダウンロード」をタップします。
- ③インターネット、メールなどからダウンロードしたファイルが一覧表示されます。

Chromeでブラウザを開いている場合

- ①「Chrome」を開きます。
- ②ブラウザのメニュー画面を開きます。
- ③右上のメニューボタンから「ダウンロード」をタップします。
- ④過去にダウンロードしたファイルが一覧表示されます。

領収書は1回しかダウンロードできません。再発行も基本的にはおこなっていないので、保存先を事前に十分確認のうえ、ダウンロードしてください。

Q アカウントの登録がわからない...



「新規登録」が見当たらない時はこのバナーから



A **新規登録** manaable トップページ **新規登録** をクリック

看護協会会員の方は

青森県看護協会会員 **新規登録** からご登録ください。

看護協会非会員の方は

青森県看護協会非会員 **新規登録** からご登録ください。

会員に
なったら

会員移行手続

- ①「個人設定」のページにアクセス
- ②「青森県看護協会会員情報」の**変更申請**をクリック
- ③「日本看護協会会員番号」「生年月日」「青森県看護協会会員番号」を入力して確認の画面へ進む(※)
- ④ 内容を確認し**照合する**をクリック

※) 会員番号がわからない場合は総務課までお問い合わせください。

注意 看護協会非会員でマナブルに新規登録し、その後看護協会の会員になっていただいた方は、
[マナブルのマイページ]→[個人設定] から会員情報をご自分で変更しないと、マナブルの情報は非会員のままです。
研修をお申し込みいただいても、非会員の受講料の請求になってしまいますので、必ず変更をお願いします。

注目!! 看護職のためのポータルサイト「NuPS」

ナプス

今年度より「デジタル改革関連法に基づく看護職の人材活用システム」の運用により、看護職の免許取得時の登録申請や現行の業務従事者届がオンライン化されます。その一環として、日本看護協会では2024年11月より看護師のキャリア情報を一元的に管理できるポータルサイト「NuPS」の開設を予定しております。このサイトは、自身の職歴等のキャリア情報や修了した研修情報の記録をパソコンやスマートフォンで便利に管理できます。利用するには、関連サイトとの情報連携の同意が必要となります。

運用されましたら、是非ご登録し、皆様のキャリア形成のツールとしてご活用ください！
詳細については、順次、協会ホームページ等でお知らせします。

看護職のためのポータルサイト **NuPS**



スマホ表示時



PC表示時

2024年11月からサービス開始!



支部が協力員として参加したイベント

東青支部 /



手洗いチェック・
血管年齢測定
大盛況でした!

9月7日(土)
令和6年度
第25回あおもりシニア
フェスティバル
in 県民福祉プラザ

中弘南黒支部 /



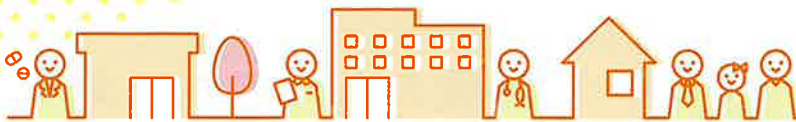
7月14日(日)
第37回
市民の健康まつり
in ヒロ

西北五支部 /



9月14日(土)
認知症フォーラム
in オルテンシア

支部のみなさま、お疲れ様でした~!!



こんにちは!

准看護師 理事です。

准看護師理事の高橋善弘と申します。私の役割は、県内の准看護師の皆さんから意見や要望などを伺って、理事会で問題提起をしていくことです。そのため、できるだけ多くの准看護師の皆さんと情報を共有する手段として、ネットワークづくりを考えております。

今後、青森県看護協会ホームページ並びに同協会LINE上でネットワークへの参加者を募りますので、ご協力よろしくお願いいたします。

記: 准看護師理事 高橋 善弘(むつりハビリテーション病院)



会費改定のお知らせ

日頃より青森県看護協会の事業推進にご支援賜り厚く御礼申し上げます。令和6年度通常総会での決議内容のとおり、令和7年度から青森県看護協会の年会費を以下のとおり改定させて頂くこととなりました。

当協会では基本理念に基づき、看護の質向上・県民の健康な生活の実現等に向けて、より充実した活動を行ってまいりますので、引き続き会員のみなさまのご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年会費の改定 令和7年度より **年額 10,000 円** に改定します。

入会金の廃止 令和7年度より入会金を **廃止** します。

ニプロ 医療機器データ通信サポートシステム
HN LINE Hospital Network Line
データ連携
電子カルテ
連携見守り
血圧管理 血糖 SpO₂ 呼吸数 体温 血圧 脈拍 輸液ポンプ シリンジポンプ 心拍心電波形
この広告に関してのお問い合わせ先 資料請求先 ニプロ株式会社 大阪府摂津市千里丘新町3番26号 2023年5月作成

令和6年度会員数

令和6年9月18日現在

8,244名

(昨年10月比△272人)

保健師

203名

(昨年10月比 △8人)

助産師

320名

(昨年10月比 △7名)

看護師

7,452名

(昨年10月比 △220名)

准看護師

269名

(昨年10月比△37名)

編集後記

今回、取材として参加した県民フォーラムですが、一般県民も参加するイベントということで学会やセミナーよりも親しみやすい内容になっており、思わず取材を忘れて楽しんでしまいました。ここにも地元根付いた花田ミキさんの看護の精神が活きているように感じました。

広報出版委員会